大正十五年の文壇及び劇団に就て語る

牧野信一

青空文庫

「唖者にも妻がある、彼自身に許されたる夢がある。」

私は、いつか「環魚洞風景」といふ私小説の中で、唖子ノ一夢ヲ得ルガ如ク云々の諺を、そんな風に曲げて異人娘に答へた事がある。これが吾家の抱負では情けない、が質問に接した時それを思ひ出したので、答へとしては厭味で且つ見当はづれらしいが、誌して見た。

青空文庫情報

底本：「牧野信一全集第二巻」筑摩書房
　2002（平成14）年3月24日初版第1刷
底本の親本：「新潮　第二十三巻第一号（新年特大号）」新潮社
　1926（大正15）年1月
初出：「新潮　第二十三巻第一号（新年特大号）」新潮社
　1926（大正15）年1月
※底本編集時に付されたと思われる、表題冒頭の「●」は省きました。
※「大正十五年の文壇及び劇団に就て語る」と題したアンケートへの、回答です。
入力：宮元淳一
校正：門田裕志
2011年5月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

大正十五年の文壇及び劇団に就て語る

牧野信一

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/